

【オーストラリア】2021-22 年度連邦政府予算案

海外立法情報課長 内海 和美

* 2021 年 5 月に公表された 2021-22 年度連邦政府予算案では、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の促進及び景気回復支援のほか、女性や高齢者への支援にも重点を置く。

1 概要

2021 年 5 月 11 日、2021-22 年度連邦政府予算案¹が公表された²。連邦政府は、「オーストラリアの回復を確実にする」をスローガンに、個人消費や設備投資など民間部門主導による強力で持続可能な成長と雇用創出を支援することで、経済回復を確実なものとし、失業率をコロナ禍前の水準以下に引き下げることを目指すとしている³。

今年度予算案の歳入総額は、4966 億豪ドル⁴（以下「ドル」）（対前年度比 5.1%増）、歳出総額は、5893 億ドル（同 12.1%減）である。歳出の中で最も大きな割合を占めるのは、社会保障関係 35.6%（約 2098 億ドル）、他に医療・健康関係 16.7%（約 984 億ドル）、教育関係 7.3%（約 430 億ドル）などが続く⁵。基礎的財政収支は、前年度の 1610 億ドル（対 GDP 比 7.8%）から 1066 億ドル（同 5.0%）へと、赤字幅の縮小を見込んでいるが、対 GDP 比 5.0%の財政赤字は、1989-90 年度以降では過去 2 番目の大きさである⁶。失業率について連邦政府は、前年度予算案では 2021-22 年度は 6.5%を予測していたが、今年度予算案では 5.0%を見込んでおり、実質 GDP 成長率 4.25%の予測と共に、オーストラリア経済の回復の速さを強調している。

2 予算案に盛り込まれた主な施策

(1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への医療支援（34.3 億ドル）

COVID-19 ワクチンの購入及び接種に、2020-21 年度から 2024-25 年度の 5 年間で合計 18.8 億ドルを充てる。特に 2021-22 年度には 13.2 億ドルを割り当て、ワクチン接種の促進を図る⁷。また、COVID-19 の検査や感染者追跡、呼吸器系専門病院の拡充、一般開業医、専門医、精神科医等重要な医療サービスの遠隔診療サービス拡充等に 15 億ドルを措置する。また、コロナ禍により鬱や不安を訴える人々のメンタルヘルスをサポートするため、ビヨンド・ブルー社の「COVID-19 メンタルヘルス支援サービス」⁸に 710 万ドルの資金提供を行う。

* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2021 年 7 月 7 日である。

¹ “Budget 2021-22: Securing Australia’s recovery,” 11 May 2021. <<https://budget.gov.au/>> なお、オーストラリアの会計年度は、7 月 1 日から翌年 6 月 30 日までの 1 年間である。

² 2020-21 年度予算案は、コロナ禍の影響のため通常より 5 か月遅れの 2020 年 10 月 6 日に公表されたが、今年度予算案は例年どおり 5 月第二火曜日となった。2020-21 年度予算案については、内海和美「【オーストラリア】2020-21 年度連邦政府予算案」『外国の立法』No.286-1, 2021.1, pp.14-15 を参照。

³ “Budget 2021-22: Budget overview,” 2021, p.7. <https://budget.gov.au/2021-22/content/download/glossy_overview.pdf>

⁴ 1 豪ドルは約 84.6 円（令和 3 年 7 月分報告省令レート）。

⁵ *op.cit.*(3), p.57. 歳出内訳は、歳出総額に対する割合しか示されていないため、金額は筆者が算出した。

⁶ “Annual budget balance,” *Sydney Morning Herald*, May 12, 2021, pp.6-7.

⁷ 2021 年 7 月 7 日現在、約 857 万回のワクチン接種が行われている。“COVID-19 vaccines,” Department of Health website <<https://www.health.gov.au/initiatives-and-programs/covid-19-vaccines>> なお、オーストラリアの人口は約 2550 万人（2020 年末現在）。

⁸ ビヨンド・ブルー（Beyond Blue）社は、2000 年 10 月に設立されたオーストラリアの非政府組織で、不安、鬱、自

(2) 個人所得税減税 (78 億ドル)、企業への設備投資減税 (179 億ドル)・欠損金繰戻し措置 (27.9 億ドル)

2020-21 年度末までの予定だった低中所得層向け所得税控除 (Low and middle income tax offset: LMITO) を、更に 1 年間延長する。対象者は約 1000 万人以上となり、個人で最高 1,080 ドルの減税となる。連邦財務省は、LMITO の延長により、2022-23 年度に GDP を約 45 億ドル押し上げ、同年度末までに約 2 万人の追加雇用を創出すると試算している⁹。

企業に対する減税措置としては、前年度に、売上高が 50 億ドル以下の企業は、2022 年 6 月末までに取得した償却資産について、取得価格全額を課税対象所得から控除 (即時償却) できることとしたが、この措置を 2023 年 6 月末まで 1 年間延長する。また、欠損金繰戻し措置も 2022-23 年度の欠損金にまで延長される¹⁰。企業へのこれらの減税措置により、GDP の増加 (2020-21 年度 25 億ドル、2021-22 年度 75 億ドル、2022-23 年度 80 億ドル) 及び 2022-23 年度末までの約 6 万人の雇用創出を見込む¹¹。

(3) 女性への支援—経済支援 (18.3 億ドル) ほか

今年度予算案において、連邦政府は、女性及び高齢者支援に重点を置いている。女性の 4 人に一人がパートナーから暴力を受けた経験があるとして、ドメスティックバイオレンスの被害者支援の強化や緊急避難施設の設置等に 11 億ドル、法的支援サービスに 1.29 億ドルを充てる。また、職場でのセクシャルハラスメントの防止に努める。女性の労働参加を促し経済的安定を図るため、子育て支援を強化する。そのため、2 人目以降の子供の保育所費用への補助増額に、追加で 17 億ドルを充てる。さらに、退職年金の最低所得基準額 (月 450 ドル) を撤廃し¹²適用範囲を拡大することで、低所得水準の女性 (約 20 万人) の退職後の経済的安定性の向上を見込む。女性の健康のために、乳がん、骨粗しょう症の予防等への対策に 3.52 億ドル支出する¹³。

(4) 高齢者介護 (177 億ドル)

高齢者介護施設について、事業者への補助金を入居者一人一日当たり 10 ドル増額する (32 億ドル)。事業者は、2023 年 10 月 1 日から、入居者一人一日平均 3 時間 20 分の介護サービスが義務付けられる (39 億ドル)。在宅介護支援のため、2 年間で 8 万人分のホーム・ケア・パッケージ¹⁴を追加する (65 億ドル)¹⁵。

殺、精神疾患等に対処するための支援プログラムを提供している。同社のメンタルヘルス・サポート・サービスでは、2020 年 4 月から専門家による 24 時間対応のメンタルヘルス相談やウェブ・チャットサービスなどを提供している。“Budget 2021-22: COVID-19 Response – Beyond Blue Coronavirus Mental Wellbeing Support Service,” Department of Health. <<https://www.health.gov.au/sites/default/files/documents/2021/05/covid-19-response-beyond-blue-coronavirus-mental-wellbeing-support-service.pdf>>

⁹ “Budget 2021-22: Creating jobs and rebuilding our economy,” p.6. <https://budget.gov.au/2021-22/content/download/glossy_jobs.pdf>

¹⁰ 欠損金には繰越控除制度が設けられており、欠損金が生じた翌期以降に課税所得が生じた場合には、当該課税所得との相殺が可能となる。2020-21 年度予算では、同年度までに生じた欠損金を、2018-19 年度以降に発生した利益と相殺できることとなっていた。内海 前掲注(2), p.15.

¹¹ *op.cit.*(9), p.8.

¹² 退職年金 (Superannuation) とは、オーストラリアの年金制度の一つで、18 歳以上で月収 450 ドル以上の被用者は強制加入となる。雇用者は、被用者のために、退職年金基金 (Superannuation fund) に給与等の 10% (2021 年 7 月 1 日に 9.5%から引き上げられた。) の拠出を行う義務を負う。

¹³ “5-Mimute Budget: Women and Families,” *op.cit.*(6), p.2.

¹⁴ パッケージレベルに応じて高齢者が受けられる在宅介護サービス。健康維持・自立支援サービス (入浴、トイレ、着替え等の支援)、自宅での安全確保のためのサービス (洗濯、風呂場への手すりの取付け等)、地域とのつながり維持のためのサービス (買物、病院への付添い等) の 3 類型がある。2018 年以来、約 16 万人が利用している。

¹⁵ “Budget 2021-22: Guaranteeing the essential services,” pp.8-9. <https://budget.gov.au/2021-22/content/download/glossy_ges.pdf>; “5-Mimute Budget: Aged Care,” *op.cit.*(6), p.2.